

平成30年10月4日

各位

九州大学大学院農学研究院 生命機能科学部門
生物機能分子化学講座ゲノム化学工学分野
教授候補者選考委員会委員長
古屋茂樹

九州大学大学院農学研究院 生命機能科学部門
生物機能分子化学講座 ゲノム化学工学分野
教授候補者の推薦について（依頼）

拝啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、本選考委員会は下記のとおり生命機能科学部門 生物機能分子化学講座 ゲノム化学工学分野 教授候補者を公募することになりました。つきましては、適任者をご推薦くださいますようお願い申し上げます。

敬具

記

1. 職・人数

教授・1名

2. 所属・専門分野

今回採用する教授は、大学院農学研究院 生命機能科学部門 生物機能分子化学講座に所属し、大学院生物資源環境科学府 生命機能科学専攻 生物機能分子化学教育コースおよび農学部生物資源環境学科担当教員となります。生物機能分子化学講座は生物化学分野、水族生化学分野、海洋資源化学分野、生物物理化学分野、植物栄養学分野、農業薬剤化学分野、植物分子機能学分野、ゲノム化学工学分野の8研究分野で構成されており、農学・生命科学の分子的基盤である複雑な生命現象の発現と調節に係る機能素子の作用機構の解明、機能素子間の相互作用解明とその応用を目指した研究を推進しております。また、大学院生物機能分子化学教育コースおよび農学部生物資源環境学科では、生命現象を分子レベルで理解し、それを人類に役立てる活動を推進しうる人材を組織的に養成する教育を進めています。

ゲノム化学工学分野は、当講座の多くの研究分野が進めている生物分子化学および分子生物学的視点からの農学生命科学の教育・研究と共に、ゲノムを主たる対象として化学の専門的な視点から

- 1) ゲノムと遺伝子の構造と機能の解明
- 2) ゲノム機能変化に資するゲノム編集技術等の開発、改良およびその利用
- 3) 新規ゲノム工学技術開発とその利用

について先端的な教育研究を担当します。

今回採用する教授としては、基礎生物学、基礎ゲノム科学における卓越した研究業績を有し、かつ旺盛な研究発信力と国際的な研究活動を推進できる能力を有する方で、遺伝子工学、ゲノム工学的な応用研究においても先進的教育・研究を推進しうる方を求めています。

す。なお、本職は本学に新設された「植物フロンティア研究センター」の植物分子デザイン部門ゲノム工学ユニット教授を兼務します。

3. 採用予定時期

教授会承認後可能な限り早い時期

4. 応募資格

博士の学位を有するとともに、上記の領域において優れた業績と該博な識見を有し、学部および大学院担当教員として学生の教育や研究指導に熱意をもって取り組む方

5. 担当授業科目

(1) 大学院

・修士課程

(生命機能科学専攻 生物機能分子化学教育コース)

生物機能分子化学特論 I、同 II、生物機能分子化学プロジェクト演習、生物機能分子化学特別研究第一、同第二、生物機能分子化学ティーチング演習、生物機能分子化学演示技法、国際交流演習、国際交流実践演習等

(国際コース)

Master's thesis research I、同 II、Seminar in a special field I、同 II、Molecular bioscience I 等

・大学院博士後期課程

(生命機能科学専攻 生物機能分子化学教育コース)

生物機能分子化学特別実験、生物機能分子化学特別講究、生物機能分子化学特別演習、国際演示技法、ティーチング演習、プロジェクト演習、インターンシップ等

(国際コース)

Research training on molecular biosciences、Teaching practice、Presentation skill for academic meeting、Internship、Project research、Advanced topics on molecular biosciences 等

・学部

国際コースも含め、必要に応じて担当

(担当可能な基幹教育科目)

基幹教育セミナー、課題協学科目等

注：英語での講義も担当していただきます。

6. 提出書類

(1) 略歴書

(2) 業績目録

・原著論文：著者名、題名、掲載雑誌名、巻、号、頁、発行年

(i) 査読付雑誌 (掲載雑誌の IF を記載のこと)、(ii) 査読なし雑誌、(iii) その他、で区分すること。

・総説・解説等：著者名、題名、掲載雑誌名、巻、号、頁、発行年

・著書：著者名、題名、発行所、発行年

・特許出願：出願特許名、発明者名、出願番号 (登録されている場合は登録番号)、出願人

・その他：特記すべき事項 (国内および国際学会活動実績、招待講演、受賞歴等)

注：原著および総説論文には、応募者にアンダーライン、論文責任者に＊を附すこと。

- (3) 主要論文の別刷り又はその写し（5編以内）
- (4) これまでの研究の概要と今後の研究に対する抱負（2,000字程度）
- (5) これまでの教育の実績と今後の教育に対する抱負（2,000字程度）
- (6) 競争的外部資金導入実績（最近10年間、科研費を含む全ての外部資金および所属機関内の競争的資金、名称、期間、金額、代表・分担の別を記す）
- (7) 推薦書
自薦の場合：自薦書および応募者の教育・研究等について問合わせのできる方2名の氏名および連絡先
他薦の場合：推薦書（1通）

7. 面接等

審査の過程で面接を行う場合があります。その際の旅費・滞在費は応募者の自己負担と致します。

8. 提出締切

平成30年11月5日（月）正午必着
書類は書留またはそれに準ずる方法で提出のこと。

9. 提出書類の送付先

〒819-0395 福岡県福岡市西区元岡744
九州大学伊都地区 ウェスト5号館669a室
九州大学大学院農学研究院 システム生物工学講座事務室
ゲノム化学工学分野教授候補者選考委員会委員長
古屋茂樹

10. 問い合わせ

九州大学大学院農学研究院 生命機能科学部門 生物機能分子化学講座
ゲノム化学工学分野 教授候補者選考委員会
委員長 古屋茂樹
E-mail: shigekifur@brs.kyushu-u.ac.jp
電話：092-802-4741

11. その他

- (1) 九州大学では、男女共同参画社会基本法（平成11年法律第78号）の精神に則り、教員の選考を行います。
- (2) 九州大学では「障害者基本法（昭和45年法律第84号）」、「障害者の雇用の促進等に関する法律（昭和35年法律第123号）」及び「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（平成25年法律第65号）」の趣旨に則り、教員の選考を行います。
- (3) 本研究院、学府、学部等の教育研究概要等は、ホームページ（<http://www.agr.kyushu-u.ac.jp>）を参照してください。
- (4) 送付された資料は返却いたしません、選考以外の目的には使用しません。
- (5) 給与等の諸待遇については、本学の関係規程により決定します。詳細についての問

い合わせ先：九州大学農学部庶務係（電話：092-802-4505）

- (6) 九州大学は箱崎キャンパスから伊都キャンパスへの移転事業を進め、大学院農学研究院・大学院生物資源環境科学府・農学部は平成30年10月1日から伊都キャンパスで教育研究を開始しました。